

=====

THE VEDANTA KYOKAI

日本ヴェーダーンタ協会からのニュース、更新情報その他

2003年7月

Volume 1 Number 4

=====

*今回は諸事情により、配付がおくれました。申し訳ありません。
*このニュースレターがいない方は、このまま返信してください。
アドレスから削除いたします。

=====

*かく語りき

「神の数々の御名と無限のお姿を通して我々は神に近づく。如何なる御名、如何なる

お姿において『彼』を礼拝しても、『彼』を悟ることはできる」

・・・シュリ・ラーマクリシュナ

「私があなた方を愛するように、あなた方も互いに愛し合いなさい。これは私があな

た方に与える新しい戒律である。私の戒律を守る者は私を愛し、私を愛する者は私の

父によって愛されるであろう。そして私も彼を愛し、その者に姿を現すであろう」

・・・イエス・キリスト

*今月の祝祭日

13日（日曜日）グル・プルニマ聖誕祭

27日（日曜日）スワミ・ラーマクリシュナーナンダ聖誕祭

*東京でのスワミ・ヴィヴェーカーナンダ聖誕祭
(当日の写真のアドレス)

<http://www.vedanta.jp/multimedia/photo/svba/svba2003b/index.html>

6月22日、日本ヴェーダーンタ協会は、141回スワミ・ヴィヴェーカーナンダ聖誕祭を池袋の豊島公会堂にて開催しました。恒例の最大行事は今年も無料で一般開放されました。「偉大なスワミに敬意を表し、その人格の様々な側面に光を当て、そのメッセージを再考する・・・」の趣旨でパンフレットが手渡されました。東京での祝賀会は今年で10年目になりますが、今回が多くの意味で最も盛会だったと言えましょう。

約300人の方々が日本津々浦々からご参加下さいました。遠路フィリピンから駆けつけてくれた友人もいました。インドの方々も少なくなく、その他の外国人も多少いらっしゃいましたが、圧倒的多数は日本人でした。プログラムに対する個人的な印象や意見を尋ねたアンケートでは、今までにない積極的な回答を頂きました。

スワミ・メダサーナンダによる祈祷とヴェーダの平和の祈りに続いて、祝賀会副会長の奈良毅教授から歓迎のご挨拶がありました。短いお話の後、隔月刊行誌『不滅の言葉』の特集号とスワミ・ヴィヴェーカーナンダの子供向けの本（付記参照）の出版が、アフターブ・セン・インド大使から告げられました。パネリストの皆様には「日常生活の不安に打ち克つ力——ヴィヴェーカーナンダの教え」のテーマでお話頂きました。パネリストは上智大学のシリル・ヴァリアット教授、清泉大学のキャシー・R・松井教授、国家公務員の豊福健一郎氏の3氏でした。皆様にご理解頂けるよう、日本語と英語の両方で進行されました。司会は今年も平野久仁子さんが担当され

まし
た。

大がかりな運搬等の作業は、多くのボランティアの方々の協力なくしてはありえ
ませ
んでした。祝賀会の企画・実行には、ゲスト・スピーカーの選出や祝賀会委員会
が数ヶ
月間練ってきた当日のスケジュールの決定が必要でした。更に逗子センターその
他の
場所で、荷造り、積み出しといった重労働にも一生懸命に携わって頂きました。

スワミ・ヴィヴェーカーナンダの等身大の額入りカラー写真がステージ奥の中央
に設置され、様々な花々、横断幕、旗飾りに彩られて公会堂全体が様変わりしま
した。

スピーチの準備がなされ、ビデオ機材、楽器、調理器具、ボランティアの方々に
配ら

れる自家製の手料理などなども運び込まれました。

ロビーには日本ヴェーダーンタ協会からのほとんどの出版物が並べられ、20～
30%

割引で販売されました。多くの英語の出版物とともに、邦訳された本も置かれま
した。

写真、カセット、線香の他に新しくリリースされたCDも陳列されました。

逗子で目録管理のための分類やバーコードを貼る作業が済んだ出版物等は、レン
タル

した大型のバンに積み込まれて東京まで運搬されました。

今年もまた音響、ビデオ、音楽機材は戸塚にスタジオを持つ鈴木敦氏のお世
話になりました。泉田香穂里（シャンティ）氏、吉田茂樹氏の協力で荷造り・
運搬しました。

ステージ係の皆さんには、平石知子さんの指揮のもと、飾り付けやパネリスト用
のテー

ブルや演壇の設置、素晴らしいフラワー・アレンジに取り組んで頂きました。

キッチン

ンでは料理の達人カラビ・ムケルジー氏、リタ・カル氏の指導で、昼食が美味し
く準備されました。受付ではボランティアの方が名札を受け取り、来客者は署名
して

『不滅の言葉』の特集号やパンフレット等を受け取りました。こちらの係りは
シャマ
ル・カル氏を中心にお願いしました。書籍その他の販売は大上氏、コロンボ氏、
羽成夫人その他が受け持たれました。その他当日の写真撮影は金井氏が担当さ
れました。そしていつも通り、人気のインド・レストラン、『タージ』からはお
茶と
美味しいインドのおやつのお詰め合わせが参加者全員に箱入りで提供されました。

この恒例行事の歌のプログラムは特に好評を博しています。毎年多くの文化・
宗教伝統からの音楽、踊りが披露され、日本人による仏教の声明や舞い、キリス
ト教
の聖歌隊、日本と欧米のヴェーダーンタの歌、そしてシタールの演奏などもあり
まし
た。
今年にはインド人会員による詠唱と日本人会員による日本語での新しい賛歌に耳を
傾け
ました。日本語の歌には、スワミ・ヴィヴェーカーナンダに捧げられた千葉茂一
氏作詞、泉田香穂里（シャンティ）氏作曲の新しい歌もありました。近年シャ
ンティさんがインスピレーションを受けて作曲されている日本語の歌は皆さん
に歓
迎されています。

当日のプログラムはスワミ・ヴィヴェーカーナンダの生涯に関する短いビデオの
上映をもって終わりました。インドのラーマクリシュナ・ミッションが製作した
この
ビデオでは、インドの著名な司会者プラネイ・ライ氏が英語でナレーションを担
当し
ています。
シリル・ヴァリアト教授、奈良毅教授、ランジャン・グプタ氏には日本語字幕の
ため
にご尽力頂きました。ビデオ上映が終わると日本人の女性参加者からは、「読書
や話
を聞くことで親しんできたスワミジーの偉大さがよく理解できて、得るところが
多
かった。スワミジーの短い生涯における重大な出来事とその膨大な業績が要約さ
れているこのビデオは、この偉大な聖者を人間として描き出すことに成功してい

る」

との感想が聞かれました。また特に新しくスワミ・ヴィヴェーカーナンダに触れる方には、このビデオが素晴らしい案内になると感じられたようです。

今回の141回聖誕祝賀会を通して、より多くの日本人がスワミジーとそのメッセージの研究に興味を持って頂けたことと思います。

* 今月考えてみたいこと

自分の意識を意識している人は少ない。俗に意識と呼ばれているものは曖昧で、散漫

で、意識されていない諸々のものだ。我々の意識は感覚を通してすべて拡散してしまう。

この意識の拡散を食い止めよ。意識を一点に集中せよ。
そしてそこから意識を広げてゆくのだ。

スワミ・ヤティシュワラーナンダ

* 忘れられないお話

商人と泥棒

ある裕福な商人が商用で2千マイル離れた首都まで旅することになりました。男は千

ルピー札で50000ルピーという大金を持って行くことになりました。列車の一等

室に予約を入れると、首都まで車内二泊の旅に備えました。

それを嗅ぎ付けた泥棒は、抜け目なく自分も商人と同じ一等客室に予約することに成

功しました。その夜、商人は千ルピー札を50枚を数えた後も、傍らに置いたア

タッ

シュケースから注意深く目を離そうとはしませんでした。商人がとうとう眠りに落ち

ると、泥棒は待ってましたとばかりに鞆を開けてみましたが、なかにお金は見つかり

ません。ところが翌朝になると、商人はまた前の日と同じように札束を勘定してい

るではありませんか。その夜再び商人が眠りにつくのを見計らって、泥棒は鞆に飛び

つきました。ところが驚いたことにお金はやはり見つからなかったのです。

こうして二度も失敗に終わった泥棒は、首都に近づく頃にはもう次の駅で降りようと

思いました。別れの挨拶に泥棒は言いました。「旦那、俺はかなり腕のいいプロの泥

棒なんだがね。旦那の大金を狙って旅について来たんだ。ところが二晩ともあんたが

眠った隙にアタッシュケースを探してみると、中は空っぽだった。でもまた今朝になっ

たら、あんたは同じ鞆から札束を出して俺の目の前で数えているじゃないか。俺の目

を欺くとは、旦那は魔力を持っているに違いない。ねえ、旦那、いったいどこに金を

隠してたんです？」

商人が応えた。「なに魔法なんてもんじゃないさ。ただ私はお前の寝台の下に金を置

いていたまでだ。そして毎夜お前が手洗いに立つたびにお前の寝台の下に金を入れ、

朝またお前が洗面に立ったところで取り出していたのだ。お前の間違いは宝を正しい

場所で探さなかったことにある。私のアタッシュケースより自分の寝床を探していれ

ば、うまくいったかも知れないのだ。自らの内に求めよ。さらば見出さん」

* 子供向けの本を初めてリリース

日本ヴェーダーンタ協会は、6月22日東京で開かれたヴィヴェーカーナンダ聖誕祭

で、初めて日本語で書かれた子供向けの本をリリースしました。『インド賢者物語—

—スワミ・ヴィヴェーカーナンダ伝記絵本』には、近代インドが生んだこの偉大な聖者の生涯とメッセージが描かれています。

6～7年の歳月を費やした邦訳では、ヴィヴェーカーナンダのメッセージが特に日本

の子供達にも伝わり易いようにとの配慮から、言葉づかいや文化的な側面にも細心の

注意が配られました。

インドで印刷され、日本から出版されたこの本は、祝賀会に出席された日本人から歓

迎され、会場では数冊が購入されました。

第1回の販売分は、終了しました。現在第2回の販売分を船便で送ってもらっている

途中です。届き次第お知らせします。

1983年から1993年まで本協会初代会長であられたスワミ・シッダルターナン

ダジは、引退後インドのベナレスで長い間ご病気で休んでおられましたが、8月3日

にお亡くなりになったことを深い悲しみとともにお知らせいたします。

2003年9月7日（日）午前11時から、亡くなられたシッダルターナンダジに敬

意を払うため、協会で追悼会を開きます。この会に是非参加されるようお願い致します

す。

協会の月例会プログラムは午後3時に始まります。

スワミ・メダサーナンダ
会長

プログラム (2003年9月7日)

10:30a.m. 瞑想

11:00a.m. 朗誦、追悼会

12:30p.m. 昼食 (プラサード)

03:00p.m. 朗唱、輪読、講話、瞑想ガイド

04:30p.m. お茶

=====

発行: 日本ヴェーダーンタ協会

249-0001神奈川県逗子市久木4-18-1

Tel: 046-873-0428

Fax: 046-873-0592

HYPERLINK "http://www.vedanta.jp" <http://www.vedanta.jp>

info@vedanta.jp

[KENB004J]

=====